



キラリ事業所訪問 13

地域の自由広場であり、デイサービスも実施する“地域の縁側”
深い交流でその人らしく暮らせる地域に

NPO 法人かべ工房村「長井ぶらっとホーム 縁が和」 管理人 国松浩司さん



駐車場で芋煮作りをする地域の皆さん

お茶のみ場であり、漬物体験教室であり、デイサービス事業所でもある「長井ぶらっとホーム 縁が和（えんがわ）」。NPO 法人かべ工房村が運営するコミュニティフリースペースで、おしゃべりをする人、お昼を食べにくる人、デイサービス利用者など、地域の人々が自由にぶらっと立ち寄る地域づくりの拠点となっています。

管理人は、グループホームの運営など介護の現場に長年携わってきた国松浩司さん。介護保険制度の中での“介護ケア”に、「これだけで人生を豊かに暮らせるのか」と疑問を持つことも少なからずあったと言います。ある日、デイサービス活動の一環で、漬物づくりがとても上手な利用者さんに出会います。「この技をケアという考え方のもとはなく、若い人に伝えられないだろうか。そして事業化できないだろうか」。国松さんの中で、介護ケアを地域の中に溶け込ませる突破口が見えた瞬間でした。

そして平成20年に誕生した「縁が和」は、漬物体験講座をメインに茶道や生け花などの教室、ミニコンサートなどのイベントを随時開催しています。町の人々がわいわいと集まる中で展開されるデイサービスは、利用者一

人ひとりの特技「ならでは」を生かした学びの場。利用者である高齢者から、若い世代に技や知恵を伝えます。見学者を招待する日には、地域の料理上手が集まり、駐車場で薪を燃やして芋煮づくり。デイサービス利用者やスタッフ、お手伝いに来た地域の人、見学者らがテーブルを囲み、顔を見合わせながら食事をいただきます。NPOとして地域と一緒に取り組むイベントも多く、田植えや稲刈り体験会には、近くの女子大学の学生、作業所で働く若者も参加。参加型イベントで、町の人々の交流と地域の活性化を図ります。

縁が和は、地域の人が高齢者と顔見知りになり、介護の現場が身近に感じられる場。地域とスタッフとの情報交換も自然と行われ、アイデアを出し合って新しい取り組みのきっかけが生まれることもあります。「地域が豊かになることで、地域で暮らす意味も出てくると思う。



国松浩司さん(49歳)「地域の人々がぶらっと集まれる場所です。夜には一品持ち寄り居酒屋になることもありますよ」

住み慣れた町でその人らしく暮らすためには、町の人々が交流し、支え合い・助け合いが当たり前にある地域づくりが必要」と力を込める国松さん。道行く人にも「まあ食べていきんさい」と誘う制度にこだわらないバリアフリーな運営で、その人らしい暮らしを支える地域づくりをサポートしています。

<DATA>

■長井ぶらっとホーム 縁が和

開所時間 8:30～18:00、イベントのない日曜日は休み

安佐北区亀山南2-5-18

☎082(815)9229

未来につなぐ人財育成のエッセンス④

離職させない新人育成の極意

リエゾン地域福祉研究所 代表 丸山法子

(社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員 生涯学習開発財団認定コーチ NLPマスタープラクティショナー)



新年度になり、皆さんの職場にも新人職員が採用され、気持ちあらたな春ですね。まずは、早く職場に慣れ仕事を覚えてもらい、いい仕事ができるよう長く頑張ってもらいたいものです。

とはいえ慢性的な人材不足に悩む介護業界。その離職率は、その他の業界よりも比較的高めと言われています。「通常2年で入れ替わる」と聞いたこともあります。せっかく採用できたとしてもすぐに退職されてしまえば、今までの努力も無駄になるだけでなく、職場の士気も下がります。最近では、人材が確保できず事業所運営ができなくなってしまったところもあるようで、事業所にとって人材確保と育成は大きな課題です。そこで今回は、離職させない新人育成について考えてみたいと思います。

介護サービスを提供する事業所が数あるなかで、皆さんの事業所を選んで「ここで働こう」と決めてもらった職員が、やる気をだして働くためには、「安心して働ける環境が整っていること」「職場のビジョンに共感していること」という2つの条件があります。

「安心して働ける環境」としては、残業が少なく休憩休暇がきちんととれること、清潔で居心地のよい職場であること、良好な人間関係であることなどがあります。とりわけ、研修の機会がある、資格取得を助めてくれる、学び合える仲間や研さんする情報があるという学びの奨励は、定着率が高いようです。成長を応援してくれる職場には貢献度が高まるといわれていますし、向上心に火をつけることで仕事への積極性が生まれます。また、職員同士が仲良しで、教えたり教えられたりという双方向のコミュニケーションがあることが必要です。これは、親睦会やイベント、交流会など、

職員全員で参加できる機会があると効果があがるようです。

そして、「職場のビジョンに共感していること」として、漠然としたスローガンではなく、もっと目標を具体化していくことが大切です。それが仕事のしかたや判断に困ったとき、組織の方針が判断基準になるからです。ゆるぎない方針を組織が掲げ、それを実行するためにすべての職員がそれを理解できていることが必要。上司がそれを語るだけではかえって職員はしらけてしまいます。ともにそれを語り合い、リーダーがそれを実現させ、職員がそれをモデルにして行動するというしくみが実現できるといいですね。

ビジョンを共有するために職員で話しておきたいこと

今までの仕事で「いちばんうまくいった成功事例」を語る

今までの仕事で「こんなうれしい言葉をかけてもらったこと」を語る

自分が高齢者になったときに世話になりたいサービス像を語る
この事業所で働きつづけると、どんな自分になれるのかを語る

さらに介護の職場は、新卒より前職経験者が比較的多いのが特徴です。職員一人ひとりの能力や経験のばらつき、基礎知識の差があることなどから、きちんと育成しておかないと、「年上の部下」に指示ができない、「年下の上司」から指導されても反発するなど、現場でやりにくさを感じることもあります。着任してすぐや採用時研修の折に、職場のルールを徹底させることも必要ですね。

こうしたことに対してあえて外部から講師を招き、育成計画と研修概要のアドバイスをもらう事業所も多くなりました。客観的な立場からの視点や意見は、職員だけではなく管理者自身の刺激にもなるうえ、掲げるビジョンのバージョンアップにつながります。何事も、最初が肝心です。この春、どのようにスタートを切るのか、しっかり確認しておくことをお勧めします。

地域包括ケア

生活課題が重複したケース。どうしていますか

孤立死のニュースが相次いでいます。認知症の母と知的障害の娘2人暮らしや、風呂で心不全をおこし倒れた夫に気づいてもどうすることもできなかった認知症の妻など、ともに最悪の事態となり発見されています。今、要介護高齢者の生活課題だけでなく、家族が抱える課題が重複し、重度化、また潜在化したりして複雑にからみあう困難なケースが増えています。現在のところ、介護問題を切り口にそれを総合的に担い、解決へとつなぐ役割を果たしているのがケアマネジャーですが、みなさんはどのように取り組まれていますか「地域包括ケアシステム」は、こうした地域で暮らす人たちの複雑な課題にチームで対応するしくみでもあります。ケアマネジャーはひとりで抱えず、地域包括支援センターと協働して地域ケア会議を開催し、課題解決の糸口をつかむことから始めましょう。そして、成功事例を蓄積して、次の類似の事例解決に活用してほしいのです。またネットワークを広げる意味のためにも、多職種連携を実現させていくことをめざしていきましょう。

介護を語るあなたへ贈る本

「聞く力 心をひらく35のヒント」

キャスター、作家として、また名インタビュアーとして知られる阿川佐和子さんが、その聞き方のエッセンスを紹介。これまでにインタビューした有名人のエピソードを交えながら、



いかに人の心をひらくか、いかにして聞くか、その心構えとスキルを説いています。介護とは、利用者の歴史に光をあてるコミュニケーション。相手が話したいことに耳を傾け、アセスメントで終わらない聞き方とはなにかを考える機会としてお勧めします。

阿川 佐和子 (著) 文春新書 [新書]

介護のための医療用語・医学知識（5） 「呼吸器系の知識と用語の解説」

訪問看護ステーション「さいの」看護師 玉田八重子



4月から訪問介護員が痰（たん）の吸引と経管栄養を行うことが認められました。呼吸器系に関する医療知識を得ておきましょう。前号と合わせて再度確認を。

呼吸器系に関連する用語の解説

⑥ **咳嗽（がいそう）**: 咳（せき）のこと。気道にある痰等の異物を身体の外にだそうとする生理現象。

医療専門職ナースからのワンポイント

⇒痰等が無く、乾いた咳の事を「乾性咳嗽」と言います。反対に痰等を含んでそれを出そうとする咳を「湿性咳嗽」と言います。

⇒呼吸器系の病気が原因で起る症状がほとんどですが、心臓などが悪い時にも出る事はあります。

⑦ **喀痰（かくたん）**: 気道の中にでる分泌物のことで、一般的にいう痰のこと。

医療専門職ナースからのワンポイント

⇒痰の性状（色やねばさなど）は、身体や病気の状態を判断するのに重要なポイントです。

⇒水のようなサラサラの痰（漿液性）、粘り痰（粘性）、膿やうみ膿みの様な痰（膿性）、血液を含んだ痰（血性）などと区別します。

⇒自分で出す事が出来ないときには、吸引などを行って出します。

⇒気道にある痰が肺のほうに流れると肺炎等の原因になります。

⇒飲み込む力の弱っている老人に痰が口の中に沢山ある状態で食事介助を行うと窒息などの危険があります。

次号は、肺疾患と痰の吸引について説明します。



「後見制度の活用方法」

司法書士 飯島きよか

後見制度には、大きく分けて、「任意後見制度」、「法定後見制度」の2つの種類があります。今回は、「任意後見制度」について、お話ししていきます。

<p>将来、認知症になった後のことが心配 (今は、元気で判断能力に問題ない)</p> <p>任意後見制度</p> <p>公証人役場で3つの契約をする</p>	<p>契約</p> <p>①見守り及び財産管理契約 認知症になるまで、将来の任意後見人に銀行の手続きなどを委任します。</p> <p>②任意後見契約 将来、認知症になった時に、任意後見人にしてほしい事を決めておきます。</p> <p>③死後事務委任契約 亡くなった後、してほしい事について、決めておきます。遺言とは別です。</p>	
	<p>お手伝い</p> <p>・定期的な訪問 ・金融機関での入出金の付添い、代行 ・入院手続きに関する契約など</p>	<p>任意後見契約で、あらかじめ定めた、財産管理や療養看護に関する法律行為</p> <p>死後事務委任契約で、あらかじめ決めておいたこと 例：仏壇の処分・葬儀・納骨など</p>
	<p>期間</p> <p>契約時から、任意後見が始まるまで</p>	<p>認知症発症時から、お亡くなりになるまで</p> <p>お亡くなりになった後</p>

【任意後見制度 Q & A】

Q: どんな時に利用するのでしょうか

A: 今は元気で、判断能力に問題ありませんが、将来、認知症になった後のことが心配な時です。

Q: どんな事ができるのでしょうか

A: もし認知症になったら、「誰」に「何をしてほしいのか」を今のうちに、具体的に決めておきます。
「誰」は、身内の方でもいいですし、司法書士のような専門家に頼むことも可能です。

Q: どうやってするのですか

A: 公証人役場で、公正証書を作成します。裁判所の手続きではありません。
(実際に後見が必要になった時は、家庭裁判所の手続きになります。)

今のうちに、自分で将来のことを決めておけますので、安心です。ただし、この契約で決めることができるのは、「将来、認知症になった後」のことです。

では、「認知症になる前」と「死亡した後」について、決めておくことはできないのでしょうか。

例えば、1人で暮らしている方が、「認知症ではないが、

入院中の銀行手続きを依頼したい」とか、「自分が亡くなった後の、荷物の処分を依頼したい」という時です。

これらも、予め契約をしておくことが可能です。

・「認知症になる前」のことを決めておく～「見守り及び財産管理契約」
・「死亡した後」のことを決めておく～「死後事務委任契約」

この2つの契約を、「任意後見契約」と一緒に行います。ちなみに、「遺言」は、自分の財産を誰に遺すかを定めることですので、「死後事務委任契約」とは異なります。

①「見守り及び財産管理契約」②「任意後見契約」③「死後事務委任契約」の3つをすることで、「現在から死亡した後」まで、もれなく、「誰」に「何」をお願いしたいのかを決めることが可能になります。

●運営HP「飯島きよか司法書士事務所」<http://www.sihou.biz/>

「ひろしま債務整理相談室」<http://hiroshima-saimuseiri.com/>

「ひろしま相続手続.com」<http://hiroshima-souzoku.com/>

TEL: 082-502-6485

(月～金 9時30分～18時 第2、第4土曜日 10時～17時)

◆弊所作成小冊子「相続手続はじめてガイド」無料配布中

◆弊所作成チャート「後見手続利用チャート」無料配布中
お電話、またはHPの「問い合わせフォーム」からお申し込み下さい。



花粉症に「逆さか立ちのポーズ」

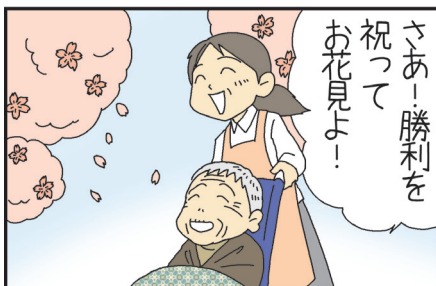
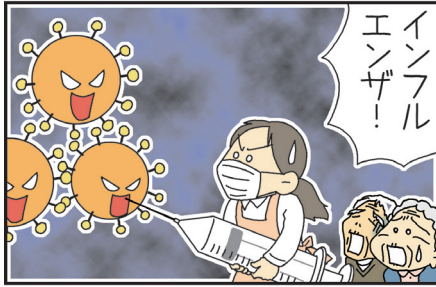
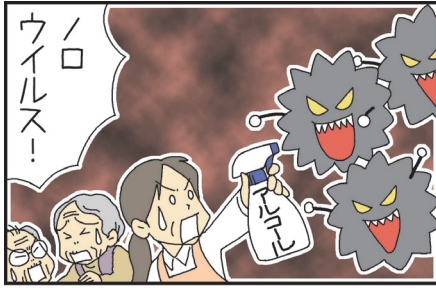
日本人の約2割がかかっているといわれる花粉症。鼻づまりには「逆さか立ちのポーズ」がオススメ。まずは首の後ろをよく伸ばしましょう。肩こりや風邪予防にも効果的です。(取材協力：国際ヨガ協会)

- 1、おお向けに寝て、かかとを押し出すように両足をよく伸ばす。両手のひらを下に向けて体に沿わせ、息を吸う。
- 2、息を吐きながら、両足をつま先からゆっくりと、ひざを曲げないように90度まで上げる。
- 3、息を吸い、吐きながら腰から背中を上げて両足を床と並行にする。
- 4、両手のひらで背中を支え、息を吸いながら両ひざを曲げ、吐きながら足を上に伸ばす。力を緩めて3呼吸する。
- 5、下ろす時は、息を吸いながらひ

ざを曲げ、吐きながら両足を床と並行にし、両手を床に戻す。
6、息を吸い、吐きながらゆっくりと腰を下ろし、腰が浮かないように注意して足を床に下ろす。



※このポーズで3呼吸



1.2.3...? 気になる数字

生涯未婚率

男性 16.7%
女性 11.9%

生涯未婚率とは、「45～49歳」と「50～54歳」未婚率の平均値から、「50歳時」の未婚率（結婚したことのない人の割合）を算出したもの。生涯を通して未婚である人の割合を

示すものではないものの、50歳で未婚の人は、将来的にも結婚する予定がないと考えることもできることから、生涯独身でいる人がどのくらいいるかを示す統計指標として使われます。現在、男性16.7%、女性11.9%となり、いずれも上昇中。結婚しない理由は多様ですが、家族のありかた、社会環境の変化など、暮らしぶりの変化につながる数字に、今後も注目しておきたいと思えます。

編集後記

介護と医療の報酬同時改定でこの春は大忙しだと思いますが、もう落ち着いた頃ではないでしょうか。活用すべきサービスをどう調整するのか頭の痛いところですね。介護がまだ措置の頃を思い出すと、頼れる制度やサービスなどなかったのも、その課題をなんとかしようとしてヘルパーも施設も社協も行政もともに知恵をしばり、汗をかき、あきらめずに取り組んだものでした。お金のことや制限などそれほど考える必要のない時代。今とは正反対です。さて、どちらがいいのだろう。どちらがしあわせなんだろうと、ふと思った春でした。(丸山)

旬カメラ「菜の花」

川沿いや田畑ののり面を黄色に染める菜の花。暖かい季節の到来を告げる春の風物詩です。目にも舌にもうれしいこの花。おひたしや和え物、パスタなどに使くと、いつもの料理が春色に。ほんのりとした苦みが癖になりますね。
撮影場所：安佐南区沼田町



きゃぶす便り定期購読について

きゃぶす便りの定期購読をご希望の方は、お届け先の郵便番号、住所、事業所名（ご氏名）、「きゃぶす便り定期購読希望」と明記の上、下記フリーダイヤルFAX宛てにお送りください。無料でお届けします。

☎ FAX 0120-47-1704